

平山耕三市長は、9月6日開会の第409回市議会定例会で各議案の提案説明に先立ち、「7月24日、EU離脱問題が懸案となるイギリスでは、離脱派のボリス・ジョンソン氏が首相に就任しました。10月末に離脱期日をひかえ、国際社会の注目が高まっています。世界経済においては、近年、自由な物の行き来とグローバル化が進展いたしました。イギリスのEU離脱問題のほか、米中間における貿易摩擦など、これまでの潮流とは異なる課題が見受けられ、日本経済に対する下方リスクともなり得ることから、これらを注視することが必要となってきます。

6月21日、政府は、経済財政運営と改革の基本方針（骨太の方針）を経済財政諮問会議での答申を経て閣議決定しました。これには、『令和新時代:Society5.0への挑戦』という副題が附され、デジタル技術の国民生活へ

の更なる活用を基盤とした社会を実現することにより、経済成長の実現と少子高齢化などの課題への対処を目指すことが示されました。

第4次産業革命ともいわれ、産業構造の転換期の到来が予測されるなか、時代に即した社会基盤の整備が必要不可欠となります。

本市では、市立スポーツセンター周辺の津波避難施設の整備について、規模を縮小した盛土構造と津波避難タワーを比較検討した結果、概算事業費や工期等に優位性のある津波避難タワーを建設する計画に変更するよう考えています。市内外から訪れる多くの競技者や観戦者の迅速な避難を可能とする緊急避難場所として整備を進めるとともに、防災広場も併せて整備する予定です。」と述べた後、主要な課題について報告しました。

（内容はあらしです）

南海トラフ地震対策

震災訓練の実施

防災週間期間中の9月1日、鶯ヶ池中学校において実施した震災訓練では、初めての取り組みとして、生徒たちによる避難所開設・運営訓練を行い、若年層が主体となる訓練を取り入れました。

次代を担う子ども達が自らの命を守り、地域を守ろうとする防災意識の向上につながるよう、今後も学校や地域などの関係団体と連携を図っていきます。

交通安全

自転車安全教室の開催

本年4月に施行された「高知県自転車条例」に基づき、初めての試みとして市内全域の小中学生を対象とした自転車安全教室を南国自動車学校で開催しました。これまでも各小中学校で自転車安全教室を実施してきましたが、自動車教習所で開催することにより実際の交通状況により近い体験を得ることができました。今後とも、関係機関と連携を図りながら、交通安全の啓発活動に取り組みます。

財政状況

平成30年度決算

平成30年度普通会計の決算状況は、普通建設事業費の増により、歳入・歳出ともに増額しました。歳入総額は対前年度比2億6千896万1千円、1.3パーセント増の21億2千746万6千円、歳出総額は対前年度比1億3千852万円、0.7パーセント増の20億8千305万2千円で、実質収支は7億7千542万3千円の黒字となりました。

地方債借入残高は、平成30年度末で193億2千783万円となり、対前年度比5億310万2千円、2.7パーセントの増となりました。財政構造の弾力性を示す経常収支比率は91.4パーセントで対前年度比1.0ポイントの減となり、公債費負担の健全度を示す実質公債費比率は、7.2パーセントで対前年度比0.2ポイントの減となりました。

本年度の普通交付税につきましては、対前年度比9千904万円、3.0パーセントの増となりました。また、臨時財政対策債は1億1千483万2千円、16.4パーセントの減となり、合計では1千579万2千円の減となりました。

平成30年度の市税徴収実績

土佐のまほろば祭り

市制施行60周年で盛大に開催

8月3日、本市の夏の風物詩、「土佐のまほろば祭り」が開催されました。「スーパースター」に南国市とまほろば祭りをイメージして作成いただいたテーマソング「Yeah Yeah バケーションー」お披露目のほか、姉妹都市・岩沼市の佐藤煙火さん、高知東工業高校出身の花火師、安岡沙都（さとこ）さん制作を含む約2千発の打ち上げ花火など、約9千人の来場のもと、盛大な祭りとなりました。

国民年金

年金生活者支援給付金制度

消費税率引き上げ分の財源を活用する年金生活者支援給付金の請求書が、9月以降対象者に送付されます。請求手続きが円滑になされるよう、日本年金機構と連携して周知に努めます。

全国中学校体育大会

陸上競技での入賞

8月17日から開催の全国中学校体育大会では、陸上競技で、香長中学校3年生の溝淵遼太

については、市たばこ税が減収となりましたが、市民税と固定資産税が堅調に推移し、徴収額61億6千778万円、前年度と比較して1億4千856万円の増収となりました。

今後も、行政改革大綱や中期財政収支ビジョンなどに基づき、引き続き、健全な財政運営の確立に努めます。

コミュニティバス

愛称が決定

本年10月1日に運行を開始するコミュニティバスの愛称募集に対して288件の応募があり、愛称を「NACO（なこ）バス」と決定しました。親しみをもって利用していただけるよう、運行車両へのラッピングも施したうえで運行します。

道の駅南国「風良里」

20周年記念感謝祭

平成11年に山村振興等農林漁業特別対策事業により整備した道の駅南国「風良里」は、今年でオープン20周年を迎えました。7月14日には、記念感謝祭が開催され、市の特産品を販売するブースも出店し、多くの来客でにぎわいました。

（りょうた）さんが、男子100メートルで5位入賞を果たすとともに、同じく香長中学校の久

武航大（こうだい）さん、溝淵遼太（りょうた）さん、坂田陽大（ひなた）さん、岡林大智（たいち）さんの4名が男子400メートルリレーで県中学校新記録となるすばらしいタイムで見事4位入賞を果たすなど、輝かしい活躍を見せてくれました。

中央地域交流センター

近隣住民説明会を開催

（仮称）中央地域交流センターについては、7月31日に近隣住民説明会を開催しました。今後、バブリックコメントの実施、高知県主催の公聴会の開催等を順次行っていきます。

オリンピック・プレ事前合宿

シンガポール・バドミントン代表選手団を受け入れ

東京2020オリンピック関係では、7月にシンガポールの水泳・卓球・バドミントンの代表選手団が相次いで来高したなかで、バドミントン代表選手団が市立スポーツセンターで7月27日から8月3日までプレ事前合宿を行いました。

姉妹都市交流

いわぬま市民夏まつりへの参加

姉妹都市・岩沼市との交流については、小中学校代表児童生徒6名が、8月18日から20日まで岩沼市を訪問し児童生徒間での交流を深めたほか、8月24日に開催された「いわぬま市民夏まつり」には、議長をはじめとして5名の訪問団が参加し、南国市産の新米等を販売するなど、岩沼市民との交流を深めました。

国営ほ場整備事業

稼げる農業の実現に向け検討

国営ほ場整備事業は、国の新規地区検討会での審査を通過し、今後、国の予算措置に向けた審査が進められる予定です。

また、関係機関で構成する南国市営農改善会の中に、新たに国営営農推進部会を組織し、「稼げる農業」の実現に向け、整備後の農地での大規模経営やスマート農業等についての検討も開始しました。

引き続き、関係機関と連携して円滑な事業の実施に向け準備を進めます。

子育て支援

副食費の独自支援を実施予定

10月1日から幼児教育・保育の無償化が開始されます。これにより、3歳から5歳までの全ての子どもたちの利用料が無料となりますが、副食費につきましては無償化の対象外となります。南国市独自の施策として、国の副食費徴収免除規定の対象となる児童が利用する施設に通う免除規定外児童の副食費について、月額4千500円を限度に市が負担するよう予定しています。0歳から2歳までの子どもたちについては、住民税非課税世帯を対象として、利用料が無料となります。

マイナンバーカード

普及促進に向け申請支援

令和3年3月からマイナンバーカードの健康保険証利用が本格実施されます。マイナンバーカードの取得については、職員への取得の働きかけとともに、市民課窓口での申請支援に加えて出張申請支援を行うなど、引き続き、マイナンバーカードの普及促進に取り組みます。

都市計画

街路事業の進捗

都市計画道路南国駅前線第2工区の道路築造事業の進捗状況については、7月末現在、用地面積全体の89パーセントに当たる7千19平方メートルの用地を取得しました。また、JR後免駅の駅前広場整備事業については、7月に現地境界立会を実施し、今後、境界測量と詳細設計を進めていきます。